

会議録

- 1 附属機関の会議の名称 令和3年度第1回水戸市少年自然の家運営委員会（書面開催）
※ 新型コロナウイルスの感染防止を図るため、書面開催とした。
- 2 開催日時
令和4年2月21日（月）から令和4年3月4日（金）（意見聴取期間）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 出席した者の氏名（※委員については、意見書の提出をもって出席とみなす。）
 - (1) 委員 鈴木 睦，穂積 弘行，長谷川 聡，安島 可子，澤田 幸宏，
田山 きよ子，青柳 直子，松橋 義樹，根本 栄寿，笹島 武
 - (2) 執行機関 湯澤 康一，鈴木 秀樹，伊藤 佑太
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 令和3年度利用状況についての意見聴取（公開）
 - (2) 令和3年度主催事業についての意見聴取（公開）
 - (3) 令和4年度運営方針（案）についての意見聴取（公開）
 - (4) 令和4年度主催事業（案）についての意見聴取（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人（書面開催により）
- 8 会議資料の名称
 - ・ 令和3年度第1回少年自然の家運営委員会資料
- 9 発言の内容
書面により意見を聴取した。以下概要。
 - (1) 令和3年度利用について
 - 【委員】 感染対策を適切に行い、大変な状況の中にも関わらず、利用者の安心・安全を第一に運営されていたと考えます。
 - 【委員】 新型コロナウイルス感染症の流行はありましたが、適切な感染対策（情報提供、周知を含む。）が実施されたことにより、令和2年度より大幅に利用増が見られたのではないかと思います。今後も安心して活動できるよう、利用者の視点に立った対応をぜひ継続していただきたいと思えます。
 - 【委員】 対象別利用状況に小学校54団体、中学校8団体とあるが、そのうち水戸市内の学校は何校だったのか。
 - 【事務局】 水戸市内の学校数は、小学校23校、中学校5校です。
 - 【委員】 新型コロナウイルス感染症による主催事業の中止・延期については資料にて把握できるが、実際に施設が休館となっていた期間も資料に記載されていると良い。
 - 【事務局】 施設の利用を休止した期間など、利用状況に係る情報については、今後、資料に記載してまいります。なお、令和3年度に施設の利用を休止した期間は、令和3年8月6日（金）～9月30日（木）及び令和4年1月27日（木）～2月20日（日）でした。また、施設の夜間利用を休止した期間は、令和4年4月23日（金）～5月26日（水）でした。

(2) 令和3年度主催事業について

【委員】中止になってしまった事業が多く、残念ですが、感染予防対策であれば致し方ないと思います。その中でも、四季の体験学習など実施できた事業があることは皆様の努力の成果と感じています。

【委員】コロナ禍に応じた運営等が実施されたと考えます。中止された行事の内容等を見ると、どの行事にも魅力があり、実施できなかったことは残念です。

【委員】開催された事業は予定の約半数でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大期間における開催中止は適切な判断であると考えます。応募総数が募集人数よりはるかに多い事業もあり、本施設の事業に対する期待度の高さが伺えます。

【委員】新型コロナウイルス感染症の影響等も考慮しつつ、各事業について具体的にどのような評価を行ったのか、資料に記載されていると良い。

【事務局】各事業については、参加者アンケートの結果や職員間の話し合いによって事業の見直しなどを行っております。資料への記載については、今後検討してまいります。

(3) 令和4年度運営方針（案）について

【委員】まだまだ厳しい状況の中ですが、青少年の育成を目指す施設として、様々な取り組みに期待しています。

【委員】運営方針、利用促進方策のいずれにおいても、本施設が社会からも求められている活動内容が適切に反映されていると思います。利用者促進のための周知対策は重要であり、SNSなどの活用、大学などの教育機関へのPRをより充実させていくことなども有効ではないかと考えます。

【委員】現代的な教育課題への対応として、①体験活動プログラムの充実とあるが、現在、どのようなプログラムがあるのか。

【事務局】青少年が、変化の激しいこれからの社会を生きる力を育むためには、従来型の知識の伝達や文化規範の継承だけでは不十分であるため、学校現場のニーズの把握を行いながら、課題の探求や解決能力を育成するような直接体験を通して学んでいく場と機会を提供する、グループワークがあります。

【委員】利用校、利用対象の拡大に、周知範囲の拡大（高等学校、大学等）とあるが、どのような周知を考えているのか。

【事務局】学校訪問のほか、郵送による周知活動を継続してまいりたいと考えています。

【委員】関係団体との連携強化に、青少年育成関係団体が行う研修会等の積極的な誘致とあるがどのような周知を考えているのか。

【事務局】総会等の関係者が多数集まる機会をとらえ、周知を図りたいと考えています。

【委員】令和3年度運営方針からの変更点があるのか、あるとすればどのような趣旨での変更なのか資料に記載されているとよい。

【事務局】令和4年度運営方針については、前年度同様の内容となっており、変更点はありません。

(4) 令和4年度主催事業（案）について

【委員】感染対策をとりつつ、できるだけ多くの事業が実施できるとよいと思います。

【委員】令和4年度事業計画については、適切であると判断いたします。感染状況を踏まえつつ、十分な感染対策を徹底・継続させながら、適切に遂行していただければと思います。

【事務局】令和3年度に引き続き、事業実施にあたっては、検温、消毒の実施をはじめ、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、十分な換気などの新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら実施してまいります。

【委員】令和3年度主催事業からの変更点があるのか、あるとすればどのような趣旨での変更なのか資料に記載されているとよい。

【事務局】令和4年度主催事業は、前年度同様の内容となっており、変更点はありません。

(その他)

【委員】学校も同様ですが、感染症とのかかわりを模索しながらの事業展開には御苦勞が多いことと思います。令和4年度はさらに多くの事業・行事がスムーズに実施できることを期待しています。